

街づくりの仲間たちのニュース プラットフォーム



平成 23 年 12 月 20 日発行

計画づくり 特集第 1 号

発行者：「街づくりの仲間たち」（連絡先は下記） 編集担当：稲垣道子
電話：(3702)3274 FAX：(3702)3219 MAIL: pxu16245@nifty.com
*ホームページにも掲載します。：<http://machi-nakama.jimdo.com/>
転送歓迎します。 送信の中止をお望みの場合は、恐縮ですがお知らせください。

◆第 1 回基本構想審議会開催（12 月 13 日（火）18 時～20 時 25 分位）

（審議会の動画と資料は、15 日に区の HP に掲載済み）

- ・以下、傍聴した「街づくりの仲間たち」から報告します。
- ・右の次第にしたがって進行。
出席委員は 25 名中 24 名。区民の傍聴申込者は 10 名。
- 1. 会長選出：森岡会長選出、宮台職務代理（会長指名）
- 2. 諮問：区長が諮問文を会長に手交。（諮問理由^{*1}の発言なし）
・諮問事項^{*2}：「世田谷区の基本構想、基本計画を策定するにあたっての、区政運営の基本的な考え方について」
- 3. 審議会の運営について
・公開（原則傍聴者 20 名以内）、議事録は、発言者名明記。
・動画配信。資料、会議の要旨、議事録等を HP に掲載。
・区民からの意見等の扱い：会長は、「事務局が整理することとし、特定の団体だけの資料が出るのは控えたい」と発言したが、生の意見が知りたいという発言もあった。
- 4. 世田谷区の現況について（配布資料にもとづく説明）
- 5. その他（以下、順不同に紹介します。）

会議次第
区長あいさつ
議題
1. 会長選出
2. 諮問
3. 審議会の運営について
4. 世田谷区の現況について
5. その他

①委員自己紹介

②今後のスケジュール（配布資料 7-2 より直近の予定及び区民参加関連のみ抽出）

24 年 2 月上旬～中旬	第 1 回分科会開催
3 月 30 日予定	第 2 回基本構想審議会
3 月 16 日（金）	基本構想シンポジウム開催（アンケート実施）
5 月	区政モニター（200 人*：*人数は、口頭の報告による）
6 月	区民意識調査（2,000 人*：*人数は、口頭の報告による）
6～7 月	区民意見交換会、地域懇談会（5 地域）、子どもを対象とした意見交換会、働き盛りの意見を聴く会 など
8 月	区のお知らせ特集号 区民意見募集の実施
25 年 2 月	パブリックコメント（1. 基本構想（素案）、2. 基本計画大綱（素案））

③分科会について

- ・3つの分科会（テーマ共）を事務局が提案。テーマについては確定しなかった。
- ・委員^{*3}は、複数の分科会に出席できる見込み。
- ・分科会も公開、議事録は、発言者名明記。（会長は、非公開、非明記を提案）
- ・第 1 回分科会は、3分科会共、まず「理念」を話し合おうと会長が提起。

④議事録：1 週間程度で原案用意、その後 2 週間程度で各委員の確認を経て公開する予定。

- 全体を通して次のような点の重要性が指摘された。（今後議事録等で再確認の予定）
策定プロセス、住民参加の拡充、住民の個人意見とワークショップ^oを経たような意見の区別、十分な時間確保、財政再建の視点、地域行政制度の発展のさせ方、在留外国人の立場。

*1 HP 掲載資料中の区長による「諮問理由」は、冒頭の区長あいさつを簡単にまとめたものと思われる。

*2 配布資料 6 には、「基本構想の全文、基本計画大綱（基本計画の理念、骨格及び主要内容を整理したもの）を答申する。」と諮問文と異なることが書かれている。

*3 「『世田谷区基本構想』『世田谷区基本計画』の策定について」（9 月 5 日 政策経営部）では、分科会（審議会委員の一部、審議会委員以外の学識経験者、職員）と書かれていたが、区民委員も分科会に参加することが明らかになった。審議会委員以外の学識経験者、職員については言及がなかった。

◆「区民参加の計画づくりを提案する集い」開催（12月4日（日））

- ・区長のメッセージをいただき、板垣副区長（第Ⅰ部のみ）、政策経営部吉田副参事、都市計画課円福係長のご参加を得て開催。（参加者約60名）

第Ⅰ部 講演：早稲田大学教授伊月盛夫さん（元世田谷区職員・元まちづくりセンター長・区在住）

インタビュー：北野和雄さん（新宿区新宿自治創造研究所）、安田明雄さん（柏木地域協議会）（いずれも基本構想等の策定に関わった方です。）

○新宿区の試みー基本構想・総合計画（2007年12月）策定に際してー

- ①基本構想審議会と都市計画審議会（都市計画マスタープラン）は、別に組織されたが、最終的には「まちづくり計画」として1冊の計画書にした。
- ②区民会議による検討：376人の公募区民と14人の専門家が参加して、6つの分科会により1年以上かけて学習しながら検討。結果を提言書「わたしたちの新宿の未来は、わたしたちで創りたい！」にまとめて区長に提出。
- ③10の地区協議会に都市計画マスタープランの「地域別まちづくり方針」の検討を依頼、「意見書」をまとめて区長に提出。
- ④基本構想審議会は、提言書を尊重して審議。6つの分科会の中心メンバーと10の地区協議会の代表が委員として参加。都市計画審議会は、提言書と意見書を尊重。
- ⑤まちづくり計画策定後、すべての事業を区民が評価する「外部評価委員会」を設置。

○退出される板垣副区長から挨拶をいただいた。提案書は、受けてくださることを確認。

第Ⅱ部 意見・提案

- ・下記提案書の提案B～DをA～C、その他をDと分けて、意見・提案を書いたポストイットを模造紙に貼りつけ、整理しつつ読み上げて討議。閉会後の追加も含めて、出された意見を取りまとめて提案書として提出することを約束して閉会。

◆「提案書」を区長に提出（12月9日）

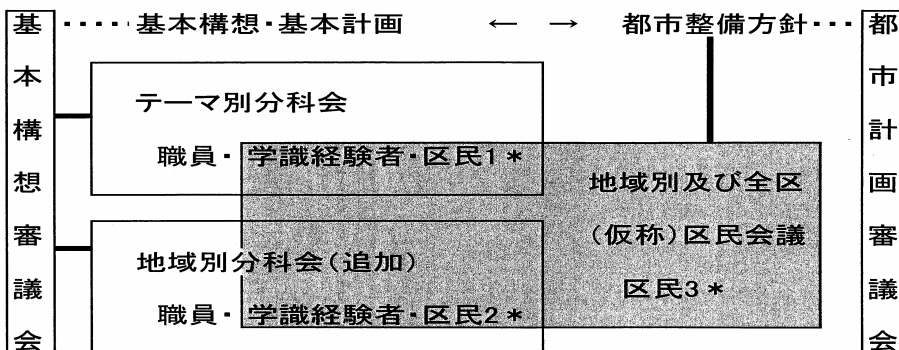
- ・以下の提案A～Dと具体的な（仮称）区民会議設置提案を加えて提案書としました。集いで寄せられた個々の提案は、A～Dに分類して列記しました。→提案書を添付
- ・同じ内容を区長宛てと審議会委員宛てとしました。（区長宛ては関連部課にも提出）

提案A 計画づくりに住民参加の徹底を

提案B 5地域からの意見を汲み上げるさまざまな機会の提供を

提案C 若者やこれまであまり意見の伝わってこない区民への働きかけの充実を

提案D 親しみやすく、未来を築く意思を区民と共有するにふさわしい審議会運営を



* 区民1 決定済委員+追加委員 数人
 区民2 " "
 区民3 希望者全員

注：上図は、分科会に職員参加、区民委員不参加という当初の区の資料を前提に提案したものです。（前ページ*3をご覧ください。）

★審議会委員宛て提案書は、担当課に配布依頼すると共に会長宛てに配布依頼状を届けましたが、審議会では提案書に言及はなく、配布されませんでした。

（仮称）区民会議設置提案
 提案理由

- ①区民参加の拡充が必要
- ②巨大な世田谷区では、地域別検討が不可欠
- ③ハード（都市整備方針）とソフト（基本計画）は不可分提案内容の概要
 - ①分科会*の拡充
 - ・地域別分科会の設置
 - ・区民委員の追加
 - ②（仮称）区民会議の設置
 - ・地域別及び全区
 - ・①の分科会と連携
 - ・街づくり条例に基づく区民意見反映措置として位置づける